

単
元
名

「歌舞伎」

教科書出版社名 (教育出版)

○ 中学校 (2) 年 教科等 (音楽)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

- ・舞台芸術での音楽の役割や効果を考えながら鑑賞する力。
- ・音楽の特徴を舞台の表現と関わらせ、多様な表現を聴き取る力。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

- ・歌舞伎の作品を読み、情報を取捨選択しながらあらすじやポイントを読み取る力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…目的に応じて資料やタブレット端末で調べ、必要な情報を集める。
- 整理・分析…歌舞伎のイメージをつかむために調べたことをプリントに書き、そのイメージを整理する。
- まとめ・表現・発信…自分が感じた歌舞伎に対するイメージなどを、整理した情報をもとに他者に伝える。また、実際に作品を鑑賞した後に、自分が感じたイメージとの合致する点や相違点などを交流する場を設定する。

○ 学習の展開 (全4時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)

第1時	○歌舞伎について学習する。
第2時 (☆)	○学校図書を活用して歌舞伎の作品を読み、物語の内容や表現のポイントを 読み取る。タブレットを活用して鑑賞し、音楽ではどのように表現されているか (物語と音楽との関連) 聴き取る。
第3時 (☆)	○前時の物語の内容と、鑑賞をして気づいた音楽と物語の関わりをパワーポイント にまとめ、提出する。
第4時	○まとめたことを班とクラスで紹介して、周りの人はどんな気づきを得ていたのか知 る。振り返りを書く。

(本時 2 / 4 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
「図書の本を活用して物語の内容やポイントを知り、音楽との関連について聴き取ろう。」

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
3 7	1. 前時に学習した「歌舞伎」について復習をする。 2. 班で担当する作品や役割について確認する。	・「勸進帳」「白浪五人男」 「身替座禅(棒しばり)」の 3つの作品のうち、1つを担当する。
めあて：図書の本を活用して物語の内容やポイントを知り、音楽との関連について聴き取ろう。		
15 20	3. 図書を活用して、作品の内容やポイントを読み取る。 4. 作品の鑑賞 内容を読み取ることができたら、タブレットを活用して作品を鑑賞する。音楽ではどのように表現されているか知る。 途中で形成的評価を行い、より深い読み取りができるようにするとともに、困っている生徒の支援を行う。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・どのような内容なのか読み取りつつ、資料の説明文に書いている情報から必要なポイントを取捨選択させる。</div> ・あらかじめクラスルームに演奏動画をアップロードしておく。 Wifiの繋がらない生徒のために、iPadも数台用意しておく。
5	5. 次時の予告	・次回、さらに詳しく鑑賞して物語と音楽との関連について学習し、まとめていくことを伝える。

図書館活用
ポイント



本を使って歌舞伎のイメージをつかむ。